

こんにちは

日本共産党品川区議会議員

鈴木ひろ子 です



鈴木ひろ子事務所 中延2-11-7 TEL3783-8833
日本共産党区議団控え室 TEL5742-6818

このニュースについてのご意見、ご要望をお寄せください。

国保料の引き下げを 子ども国保料を無料に

予算議会で求めました

国保料：様々な改悪で11年間で2倍の値上げに

	2009年度		2020年度	
給与収入300万円 40代夫婦子供2人	17万9829円	⇒	37万5498円	2.1倍
給与収入500万円 40代夫婦子供2人	32万8505円	⇒	59万9846円	1.8倍

高すぎる国保料
今年もまた値上げに

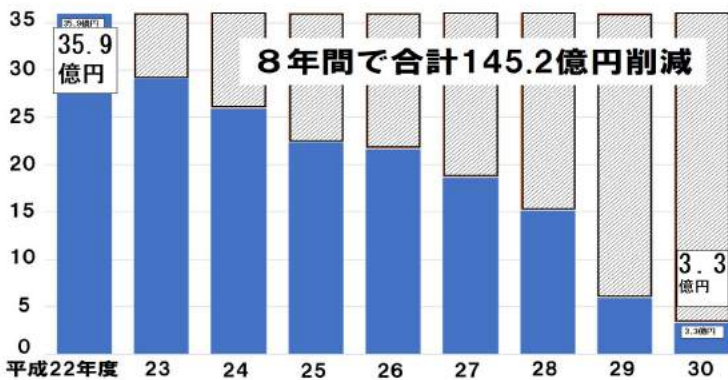
国民皆保険制度の下、定年後や自営業、非正規や失業者など多くが経済的に厳しい人が入る医療保険が国保です。ところがその国保料が最も

高い保険料になっていまして。このままでは国保制度が破綻する。1兆円の入れ引き下げが必要」と全国知事会も提言を出し訴えていながらも、かわらず、安倍自公政権は各自治体に

国保料引き上げを求めてきました。これまで自治体が国保料引き下げのために繰り入れてきた税金投入をやめる仕組みを作ったのです。そのため、品川区が国保に入れてきた税金は平成22年度35・9億円から平成30年度には3.3億円に、8年間でなんと1/10以下まで減らしてきました（裏面グラフ）。そしてその分、国保料を値上げしたのです。共産党は税金投入を平成22年並みに戻せば、1人4万円の引き下げができる提案しています。（裏面に続く）



国保への税金投入の推移



子どもの国保料を無料に

しかし引き下げどころか、今年も国保料が一人平均年額3172円、介護保険料が4643円の値上げです。この値上げ条例に反対したのは共産党と生活者ネット。自民、公明などが賛成しました。

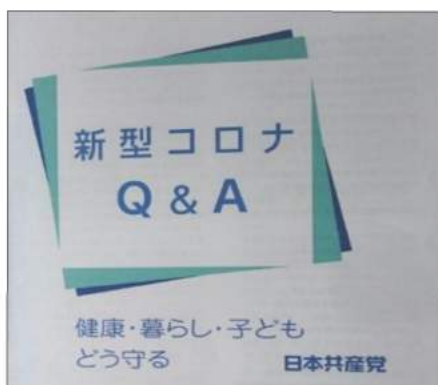
品川区の滞納者の滞納理由は多い順から、無財産、借入過多、低所得、病気・負傷、事業不振など。多くは貧困で払えない人です。そのため、現在の国保制度ができてから60年間もの長い間、延滞金は

なんと!
こんどは滞納者への延滞金徴収8.9%

赤ちゃんが生まれたと同時に保険料がかかるのも国保だけ。1人年額5万2800円円です。2人子供がいれば10万5600円。大きな負担です。国保加入者の内子どもは5343人。無料にかかるお金は2億2000万円です。削減した国保への税金のごく一部で可能です。品川区は、子どもの国保料無料化の必要性は認めているのに、「国や東京都に求めている」と言って「区独自にやる考えはない」との答弁を繰り返し、やらない理由をまともに述べることはできません。

取ってこなかったのです。それを今回初めて徴収します。延滞金徴収は23区中9区のみ。徴収率が23区でトップの品川区が他区に先駆けて延滞金徴収をなぜ行うのか。8.9%もの延滞金をつけ、罰を与えて払わせるというやり方が自治体のやることか。「なぜ払えないのか、生活実態を丁寧に聞き取り、様々な制度も紹介しながら生活再建の相談に乗ることこそ自治体の役割ではないのか。延滞金徴収は止めるべき」と求めました。

引き続き国保料の引き下げ、子供の国保料の無料化、延滞金の徴収中止を実現させるため頑張ります。



新型コロナQ&Aパンフは、共産党HP、ひろ子事務所にもあります。

新型コロナウイルス感染症に関する

品川区の相談窓口は

電話03-5742-9108

(9時から17時まで(平日のみ))

東京都: 電話0570-550571

(9時から21時まで(土日祝日含む))

無料

法律・生活相談会

4月27日(月)
 午後5:00~

鈴木ひろ子事務所
 中延2-11-7 ☎3783-8833

弁護士さんが対応します。どんな問題でもお気軽にご相談ください。